

熊本市長  
大西 一史 殿

令和2年4月10日

## 学校一斉休校延長に伴う緊急要望

新型コロナウイルスの感染拡大がより一層深刻度を増し、熊本市でも感染者が急増している。熊本市には引き続き市民への外出自粛要請や感染防止対策に万全を期していただきたい。

さて、大西市長は熊本市独自の「リスクレベルと判断基準」の目安を示し、レベル3の警報とした。その措置により熊本市立の小学校、中学校、高等学校、専門学校、特別支援学校及び幼稚園の5月6日までの休校延長を決定した。

大西市長の早期判断には評価をするが、一斉休校となり2か月目に入り、子どもたちだけではなく、保護者にも過分の負担が重くのしかかっている。

私たち公明党は、熊本県本部青年局が青年層（特に子育て世代）を中心に緊急ネットアンケートを3月30日から4月19日まで行っている。現在、途中経過ではあるが、学校休校に対する声も多く寄せられている。

今回の学校休校延長に伴い、子どもたちの「生活を守る」「家庭環境を守る」「学力を守る」「学校教育環境を守る」の4つの視点から緊急要望を行う。緊急要望事項については直ちに検討し、書面にての回答を求める。

最後に熊本市には市民の生命を守るため、さらなる感染拡大防止に努め、新型コロナウイルス感染症による犠牲者を出さないことをお願いしたい。

公明党熊本市議団

井本 正広  
園川 良二  
藤永 弘  
浜田 大介  
三森 至加  
高瀬千鶴子  
伊藤 和仁  
吉田 健一

## 緊急要望

### 「生活を守る」

- 一、 熊本市立学校及び幼稚園の臨時休業に伴い、保護者の休暇取得等を柔軟に対応し給与への影響が最少になるよう、企業等へ指導・通知をすること
- 一、 特別支援学校の児童生徒は個々の状況に合わせ適切に対応し、その対応にあたり人的配置を増やす等の措置を講じること
- 一、 子育て世代の経済的な負担を減らすため、所得にかかわらず恒久的な給食費の無償化を実現するよう求める

### 「家庭環境を守る」

- 一、 児童虐待防止の観点から、必要に応じて担任教師から保護者や児童生徒へ家庭訪問等を行い、状況の確認を行うこと
- 一、 保護者が子育てについて気軽に相談できる体制強化を行うこと

### 「学力を守る」

- 一、 学力低下解消へ個人所有のPC・タブレットを活用した、公平な自宅学習の環境を早急に整備すること
- 一、 中学校3年生の学習の遅れは許されず、受験や就職を見据え保護者には適時情報提供を行うこと

### 「学校教育環境を守る」

- 一、 登校日は感染拡大防止に万全を期すこと
- 一、 保護者が感染を恐れ、登校を拒否した場合は担任だけに対応させず学校長・教頭等へ報告し適切な対応を行う
- 一、 学校を取り巻く非正規労働者が無給になることが絶対に無い様に配慮し令和2年度予算に計上している人件費等は確実に執行すること  
なお、無給となった事案はすべて議会に報告すること